

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6-(5)	災害時の一時避難場所として利用できる中庭への出入り口に施錠してある。	必要のない鍵をかけないケアの実践	先月の会議により、職員一人ひとりに鍵をかけることへの意識を改善を促す。来月より、実践していく。その中で、問題となるケースを、毎月の会議にて事例を挙げ、一つずつ考察していく。 (身体拘束廃止委員会を中心とする)	12ヶ月
2	35-(13)	近隣との連携体制を図り、災害時の支援体制の確立を行なう。	消防訓練に近所の方にも参加して頂き、災害時等に協力してもらう。	民生員の定例会議にて、再度呼びかけを行なう。また、四街道ケアセンターそよ風において介護教室を開催する。その中で、災害時の現状や支援の協力をお願いする。	12ヶ月
3	49-(18)	近隣の人々との触れ合いやリフレッシュのためにも、外出の回数を増やす。	散歩に出た際に近隣の方と気軽に挨拶できるような関係をつくる。	散歩に関してはケアプランに組み込み、随時実施している。 また、近隣との関わりの機会として、地区社協の介護予防事業に参加予定。その中で、顔見知りの関係をつくり、定期的な関わりができるようにする。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所